

Blue & Green Art Project 2021

海と陸の過去・現在・未来 ～和のサステナビリティで世界へ～

ライブ
配信

シンポジウム + ミニコンサート + ファッションプレゼンテーション

日時：2021年7月11日（日）
13：30 開場 14：00 - 17：00
（一般入場不可）

会場：ラポールゆや

〒759-4503 山口県長門市油谷新別名833番地

YouTube 配信 QR コード



開演 30 分前より配信を開始します。

企画：安倍 昭恵 / 水谷 由美子
運営 山口県立大学企画デザイン研究室

主催：ブルー & グリーン アートプロジェクト実行委員会
共催：長門市 / 長門市教育委員会 / 山口県立大学
助成：公益財団法人東芝国際交流財団
協賛：株式会社 Archis / インフォマート株式会社
協力：ラポールゆや

ブルー & グリーンアートプロジェクト



YouTube で検索



ARCHIS
japan

Info Mart
Corporation



お問い合わせ先：
ブルー & グリーン アートプロジェクト実行委員会事務局
山口県立大学国際文化学部事務室内 担当 水谷
〒753-0021 山口県山口市桜島 6-2-1 Tel : 083-929-6258
Mail : 2021blueandgreenartproject@gmail.com

ブルー&グリーン アートプロジェクト実行委員会は、SDGsにコミットし、地域の課題発見・解決を目指して2020年に設立されました。これはアグリ・アートフェスティバルが陸を中心に取って扱ってきたことに対して、その活動の延長線上にあるものですが、当実行委員会は海と陸を繋げて守り育てていくという考え方に立っています。それ故に、昨年は「海と陸の結婚」をテーマにシンポジウムとファッションプレゼンテーションを開催しました。

本年は、課題発見・解決に向けた活動をするために、改めて海と陸の諸問題について過去・現在・未来という視点から議論して頂きたく「海と陸の過去・現在・未来～和のサステナビリティから世界へ～」をタイトルとしました。また、副題の「和のサステナビリティで世界へ」の背景は、日本の伝統的な思想や暮らしの振る舞いが実はサステナブルな特徴をもっていたという考えにあります。また、日本では世界に先駆けたサステナブルなイノベーションが行われており、伝統的な生活文化や最先端テクノロジーを世界に発していくことを目指して上記副題が付けられました。

シンポジウム、ミニコンサート、SDGsに関する活動やファッションプレゼンテーションなどを実施し、地域の方々との交流も交えて、地域文化・芸術・デザインの創造におけるヒントを探りたいと思います。

● 企画・運営・コメンテーター

● 企画・デザイン・モデレータ



安倍 昭恵 (前内閣総理大臣 安倍晋三夫人)

聖心女子学院幼稚園から高等学校卒業。聖心女子専門学校英語科卒業。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了。株式会社電通新聞局を経て1987年安倍晋三氏と結婚。趣味は、ランニング、ゴルフ、お茶づくり。2006年から山口県立大学企画デザイン研究室と共同開発を開始し、2013年からファッション創造による農業振興および地域活性化の活動を継続的に実施している。2018年から山口県立大学大学院国際文化学研究科非常勤講師。ブルー&グリーンアートプロジェクト実行委員会名誉顧問。



水谷 由美子 (山口県立大学国際文化学部長)

ブルー&グリーンアートプロジェクト実行委員会 実行委員長。三重県生まれ。お茶の水女子大学大学院修了。ヘルシンキ芸術デザイン大学(現アルト大学)客員教授。山口の地域資源を活かし、服飾デザインを通して、地域のブランディングや商品開発について産学公連携による研究創作及びフィンランドのラップランド大学やハワイ大学マウイカレッジと共同研究を行う。また、サービスデザイン手法を取り入れ、サステナブルなデザインアプローチを行う。

● パネラー



中井 徳太郎 (環境省事務次官)

東京大学法学部卒業。大蔵省入省後、主計局主査などを経て、富山県庁へ出向。日本海学の確立・普及に携わる。その後、財務省理財局計画官、財務省主計局主計官(農林水産省担当)などを経て、東日本大震災後の2011年7月の異動で環境省に。総合環境政策局総務課長、大臣官房会計課長、大臣官房秘書課長、大臣官房審議官、廃棄物・リサイクル対策部長、総合環境政策統括官を経て、2020年7月より現職。



葦津 敬之 (宗像大社宮司)

1962年生まれ。1985年神社本庁に奉職、1996年主事。総務課長、情報管理課長、城学課長、国際課長、2009年参事、財務部長、広報部長を経て、2012年4月に宗像大社に奉職、翌年権宮司昇任、2015年6月宮司昇任、現在に至る。ライフワークは環境保全。宗像国際環境会議では、有識者とのシンポジウムだけでなく、藻場の再生のため、宗像の山から竹を切り出し「竹魚礁」を海に沈めたり、ビーチクリーン活動も行い、実践的に活動している。



岩元 美智彦 (日本環境設計株式会社 会長)

1964年鹿児島県生まれ。北九州市立大学経済学部卒業。卒業後、繊維商社では容器包装リサイクル法の制定を機に繊維リサイクルに携わる。2007年1月日本環境設計を設立。資源が循環する社会づくりを目指し、リサイクルの技術開発だけでなく、メーカーや小売店など多業種の企業と共にリサイクルの統一化に取り組む。2015年アショカ・フェローに選出。EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2015ジャパンチャレンジング・スピリット部門大賞受賞Japan Venture Awards 2017中小企業庁長官賞受賞。



江原 達也 (長門市長)

1963年長門市(旧日置町)生まれ。県立大津高等学校(現県立大津緑洋高等学校)卒業後、専修大学経済学部に進学、卒業後は株式会社みずほ銀行に就職、みずほヒューマンサービス株式会社を経て、2016年に帰郷。2017年4月から長門市議会議員を経て、一昨年1月1日から長門市長に就任。市長就任以来、市民目線による「市民が主役のまちづくり」を目指し、健康・医療・福祉・教育・生活環境の充実と地域経済の活性化に全力で取り組んでいる。

● アーティスト



涼 恵 (小野八幡神社・権禰宜)

幼い頃から神社で育った彼女は、自然の語らいに耳を澄まし、言霊を嗅ぐと評される。世界宗教者平和会議、NYカーネギーホール、ブラジル、ロシア、中国、タイなど彼女のコンサートは世界各地で開催され、彼女の音楽性に国境はないことが証明された。神道文化賞受賞。2020年「楽園」(UNIVERSAL MUSIC JAPAN)にてメジャーデビュー。同年、神社新報ブックスより初の随想集『言霊の響き』が上梓。『武士道』の著者であり五千円札(2007年4月2日まで発行)の肖像である新渡戸稲造は縁戚。

● ごあいさつ

- 前川 剛志 (ブルー&グリーンアートプロジェクト実行委員会 理事長・山口県立大学 理事長)
- 白井 純 (公益財団法人東芝国際交流財団顧問)
- 柳居 俊学 (山口県議会議長)
- 安倍 昭恵 (前内閣総理大臣 安倍晋三夫人)

● 企画・運営・服飾デザイン ● コ・クリエイター

企画デザイン研究室+
山口県立大学大学院国際文化研究科
田村 奈美/松浦 奈津子/山本 成美
山口県立大学国際文化学部文化創造学科3年
石田 彩夏/甲斐 雄大/小坂 加奈子/原田 裕作

下川 まつゑ
(有限会社ナルナセ/山口ファッション&テキスタイル研究所 Y-FATI)
武永 佳奈
(倉敷市立短期大学 専任講師/山口ファッション&テキスタイル研究所 Y-FATI)